

期人間ドックを実施するなど、福利厚生にも努めてまいります。

救急体制については、気管挿管等の資格認定者を養成し、救命率の向上に努めてまいります。

火災予防については、防火講習会や避難訓練、ひとり暮らし高齢者世帯の防火訪問等、防災意識の高揚に努めてまいります。

津波災害に対する意識が高まる中で、今年度は海抜表示板を主要箇所に設置してまいります。

また、高齢者や障がい者等の避難を支援する「八雲町災害時要援護者避難支援プラン」を策定しましたが、今後は、町内会等の取り組みによる「個別支援計画」の作成支援を進めていくとともに、津波ハザードマップなどを活用した避難訓練の実施など、地域での防災意識を高めていく取り組みを進めてまいります。

### ■循環型社会の推進

「大量生産・大量消費・大量廃棄」型の経済社会から脱却し、環境への負荷が

少ない「循環型社会」を進めるためには、資源の循環的な利用が図られることが必要不可欠であります。

今年度はごみの減量化および資源化をより一層進めるため、従来の有価物の回収に加え、昨年度途中から実施した小型家電リサイクルの推進、生ごみの分別収集の定着化に努めてまいります。

### ■上水道・下水道の整備

水道事業は、各浄水施設や配水管等の計画的な更新や整備を行い、安心・安全な水道水の安定供給に努めてまいります。

下水道事業は、土地利用状況と人口動態を考慮し、適正な施設整備に努めるとともに、下水道整備区域外につきましては、合併処理浄化槽の補助金制度活用による水洗化を推進してまいります。

また、下水汚泥・し尿・浄化槽汚泥の処理一元化を行うための汚水処理施設共同整備事業は、早期実施に向け引き続き関係機関等と協議を進めてまいります。

### ■環境美化の推進と公園・緑地の充実

公園については、町内会等の協力を得ながら良好な環境を保つとともに、安全な憩いの場となるよう適正な維持管理に努めてまいります。

### 5. 健やかに充実して暮らせるまちづくり

#### ■保健・医療の充実

急速な高齢化の進展や生活習慣病の増加など疾病構造が変化する中、健康寿命の延伸を図るためには、町民一人ひとりの健康づくり意識の向上が必要です。

そのため、町民ドックや住民検診をはじめ、各種がん健診、特定保健指導、健康づくり教室等を通じて、町民一人ひとりが疾病の早期発見・早期治療、生活習慣の改善と生活習慣病の予防に取り組む意識の醸成と普及啓発に努めてまいります。

また、町民の健康保持・増進、健康寿命の向上を図

るため、今年度から健康増進計画を策定してまいります。

子宮頸がん予防、ヒブ・小児用肺炎球菌予防のワクチン接種については、予防接種法に基づく定期接種となりましたので、公費負担で実施してまいります。

総合病院では、医師不足に起因する診療収入の減収の中、各種診療報酬加算などの増収策や経費節減の経営改善を進め、計画的な一般会計の支援もあり、早期の資金不足解消に目途がついたところであります。

昨年着工しました新精神科病棟は、本年10月竣工予定であります。

新たな建設改良計画は、本館棟の全面改築事業および既存精神科病棟等の改修事業であります。災害拠点病院として耐震化を図り、さらに地域センター病院としての機能を維持・充実するため全面改築を決定し、本年度着工することといたします。

病院づくり構想の策定につきましては、これまでの議会や町民のご意見を踏ま

え、町民が安心して医療を受けられるための環境整備や医師確保に最大限努め、経営の安定化を進めてまいります。

国保病院は、医師2名体制が確保できましたので、地域住民への適切な医療の提供や健康を守るための予防医療の役割を果たし、熊石地域における唯一の病院として地域医療の充実に努めてまいります。

また、看護職員の住環境の改善を図るため、看護師宿舎の整備に努めてまいります。

